

■武藤章 陸軍軍人。統制派の主要メンバーの一人として知られ、<敗戦>後、"A級戦犯"として死刑になった。

むとうあきら

大本教・・・1892 = 熊本県上益城郡白水村(菊池郡菊陽町)で、小地主武藤定治の次男に生まれる。

日清戦争始・1894 = 2歳：

田中正造直訴1901 = 9歳：

日露戦争終・1905 = 13歳：

濟々覺，

熊本地方幼年学校，

韓国併合・・・1910 = 18歳：

中央幼年学校を経て，

明治天皇没・1912 = 20歳：

大正政変・・・1913 = 21歳： 陸軍士官学校を卒業(25期)，少尉に任官する。

ㄱ 勝仁条約・1919 = 27歳：

大暴落・・・1920 = 28歳： 陸軍大学校を卒業(32期)，

原敬首相暗殺1921 = 29歳：

陸軍士官学校付，教育總監部付を経て，

水平社結成・1922 = 30歳：

教育總監部課員となる。

関東大震災・1923 = 31歳：

<第一次世界大戦>の研究のため，ドイツ留学を命ぜられ

併せて欧米諸国なども視察して，

円本時代始・1926 = 34歳：

帰国。教育總監部に戻り，

教育總監部付あるいは同課員として歩兵操典などの改定に従事，

共産党事件・1928 = 36歳：

少佐に進む。

世界恐慌・・・1929 = 37歳：

1年間陸大専攻学生に派せられた後，

海軍軍縮条約1930 = 38歳：

参謀本部に移り，欧米課ドイツ班に勤務。

満州事変・・・1931 = 39歳：

参謀本部兵帖班長となり，兵帖綱要の改編に携わった後，

五一五事件・1932 = 40歳：

参謀本部第二部第四班長となる。中佐に進級。

国際連盟脱退1933 = 41歳：

中国を視察，続いて欧米を視察し，

帝人疑獄事件1934 = 42歳：

帰国後，歩兵第一連隊付となったが，

芥川直木賞始1935 = 43歳：

軍務局に移り軍事課員となる。陸軍で抗争が激化してきた皇道派に対する統制派の一員と目され始める。

二二六事件・1936 = 44歳：

関東軍参謀に転出し，大佐に進級，

日中戦争始・1937 = 45歳：

*参謀本部作战課長となる。<日中戦争>勃発に際しては対支一撃論を唱え，中支那方面軍参謀副長となって，

杭州湾上陸作战に参加，

北支那方面軍参謀副長となり，"天津租界封鎖問題""新民会改革問題"などに携わった。

*少将に昇進して，軍務局長に就任。東条英機の腹心として知られ，"桐工作(宋子良工作)"による支那事变

打開・米内内閣打倒工作・日米関係の打開などに従事。

日米開戦・・・1941 = 49歳：

中将に昇進，

・・・1942 = 50歳：

近衛師団長に転じ，

創価学会検挙1943 = 51歳：

近衛第2師団長となる。

年金+総武装1944 = 52歳：

第14方面軍参謀長となり，比島防衛作战にあたった。

敗戦・・・1945 = 53歳：

*<敗戦>後，

新憲法公布・1946 = 54歳：

巢鴨拘置所に"A級戦犯"容疑で収容され，

"東京裁判"の結果，

極東裁判決・1948 = 56歳：

刑死した。